

音楽に関する階層的記憶の認知モデル（実習の構想
発表）

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-05-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 加藤, 南, 西川, 純平, 森田, 純哉 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00026591

音楽に関する階層的記憶の認知モデル

加藤南（情報科学科），西川純平（行動情報学科），森田純哉（学術院情報学領域）

様々な音楽が日々登場している．その中には，覚えやすい曲，また，音楽の一部が心内で強制的に反復されるイヤークラムが起る曲などもある．これらがどのような原因で生じるのか．古くから曲の特徴や構造を記述する音楽理論などが構築されてきたが，人間の認知の特性にしたがってその原因を検討した研究は少ない．本研究では認知アーキテクチャである ACT-R を用いることで，曲を覚え，その曲の一部から曲名を同定するモデル（イントロ当てクイズモデル）を作成する．音楽は階層構造で表現できると考えられているが，ACT-R にはチャンクがあり，階層構造を表現することが可能である．チャンクに従った記憶の仕組みを使うことで構造によって覚えやすい，思い出しやすい音楽が生じる原因が明らかになると考えている．

（先端情報学実習・実世界と数理世界を結ぶモデリングとシミュレーション，担当教員：森田純哉）